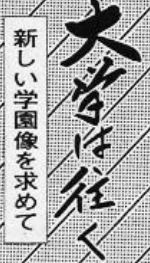


### 筑波学院大学



(108)

知識・徳性・技術を兼ね備えた人材を育成する。筑波学院大学(大島博子学長、茨城県つくば市)は、女子短期大学として開学したが、現在は男女共学になり、経営情報学部で基本的な教養と、情報スキル・デザインやマネジメントなどを、学生の希望により幅広く学ぶ。少人数制を活かし、保護者面談、保護者会、担任制度、学長との対話など、学生、保護者、教職員とのコミュニケーションを重視する。つくば市があるつくば市および茨城県内の企業、自治体、NPO法人で活動することが必修(8単位)となる。外国企業で長年勤務した学長は、その経験をもとにグローバル化に腐心する。グローバル社会で価値観が多様化している時代には、柔軟な考え方やバランス感覚が必要で、多少の失敗は恐れず、何にでもチャレンジしてほしい」と語る学長は、学園の歩み、改革、これからを聞いた。

(文中敬称略)

### ユニークなつくば市がキャンパス

つくばはエクスペリエンスで、年、共学化して筑波学院秋葉原から四五分と、東大に改組した。国際的な研究学園都市・つくば市にキャンパスがある。開校後、五〇八名を開設。現在、五〇八名は、男子七割、女子三割。学長の大島が大学を語

学校法人東京家政学院(東京都千代田区)が、

一九九〇年、東京家政学院筑波短期大学を開学。筑波研究学園都市に女性人材育成を目的に、茨城県とつくば市の協力のもと、

とに、公私協力型の教育機関として開学しました。東京家政学院の建学の教育理念である「KV A精神」を継承しています。KV A精神とは、Knowledge(知識の啓発)、Virtue(徳性の涵養)、Art(技術の錬磨)。「このKV A精神を現代社会にマッチさせ、知識と知性を磨き、高度情報社会で活躍できる技術をもち、二十一世紀のグロー

## 失敗恐れず、何事にも挑戦

### 地域貢献 グローバル化に傾注



「専門教育を深めつつ、教養教育に力を注いでいきたい」と語る大島学長

スタディ学習から最先端のビジネス、経営の成功体験事例までリアルな経営学を学ぶ。KV A精神とは、Knowledge(知識の啓発)、Virtue(徳性の涵養)、Art(技術の錬磨)。「このKV A精神を現代社会にマッチさせ、知識と知性を磨き、高度情報社会で活躍できる技術をもち、二十一世紀のグロー

バル社会で、自立して社会に貢献できる人材の育成を目指しています。経営情報学部の学び、グローバル化が進む高度情報化社会の発展に貢献できるように、コンピュータ技術を介して情報を駆使し、卒業後、即戦力としてビジネス界で活躍できるように、その基礎力を身につけます。

同学部は三コースある。二五〇の専門科目を横断的に履修することができ、多様な学際的な学問を経験し、四年次には専門性を高めるためにビジネスマネジメント、情報システム、メディアデザインの三コースで卒業研究を行います。ビジネスマネジメントコースは、国内外の企業や自治体の経営のケース

「グローバル」として、英語教育のみが脚光を浴びますが、言語はあくまで手段。中学程度の英語力では、日本全体で生活手段として必要な時代になるので、本学では、その現実を学生が自覚することとを啓発しています。昨年からの英語スピーチコンテスト(KV A C UP)を始めた。小学

「グローバル」として、英語教育のみが脚光を浴びますが、言語はあくまで手段。中学程度の英語力では、日本全体で生活手段として必要な時代になるので、本学では、その現実を学生が自覚することとを啓発しています。昨年からの英語スピーチコンテスト(KV A C UP)を始めた。小学

経営情報学部教授・経営情報学部長主任を経て、一から学長になった。帰国子女や外国人も参加する。ユニークなコースを新設する。ビジネスコミュニケーションは、米国の大学では、経営学、社会学にありますが、異文化、広報、宣伝、地域理解などを包括した分野で、本学では、国際、多文化、地域、セラピー、ツーリズム等の分野を包括して扱っています。

「学生には多様な価値観と選択肢を示すことが重要だと考えています。グローバル化とは、ビジネス社会では世界統一規格をもつことで、一一般社会では異文化や他の価値観を受け入れる寛容さ」と好意をもつことだ

「『専門教育を深めつつ、教養教育に力を注いでいきたい』と語る大島学長」